

夜間学校 ニュース

1987年1月16日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里氣付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を

一九八七年第一回夜間学校 今日市民館で

釜ヶ崎に不況の波は

おしよせる

一三七人の仲間に聞いた結果は―

みんなであつこう
みんなの 会館
三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

昨年未の十二月三十日と年
か昨けての一月五日と七日の
四日間、アプシ支給時間に仲
間に協力してもらって来歴調
査をおこなった。(心よく協
力していただいた仲間たちに
心からお礼申あげらる。あり
がたの言葉をいただきました。
さて、(二)でもう一度、な
んのためのアンケートだった
のかを確認しておこう。

(二)二、三年の手帳番号の
のびのものすごさは、皆もよ
く知っていることと思ひ。
では、なぜ急増したのだろ
うか。
アプシが六千二百円になっ
たことをあげる仲間もいるだ
ろう。また、手帳金融が増え
たことこの関連をいう仲間も
いるだろう。そして、今まで
も釜に居たが、手帳を持って
(ゆいん)

弱者いじめる弱者 駅での悲しい光景

私は障害者福祉に従事するシアルワーカーですが、うち
の職場に社会参加の場を求めて
出入りする二十七歳の脳性マヒ
一級の、かろうじて歩行可能な
男性が、ある日の夕方、国鉄環
状線森ノ宮駅での事件を後日、
私に話してくれました。

酒に酔ったおっちゃん、く
だを巻ながら彼に近づき、足
もとこの不安な彼を突然つきたお
し、「おまえみたいな役にたたら
んやつは死んでまえ!」とのの
したげです。もの静かな性
格の彼は、こんなおっちゃんに
かわつたら面倒なことになる
と思ひ、無言のままやり過して
たということです。彼がつき倒
し、(一九八七年一月八日朝日新聞語り合っページ)

(二)二に書いてある、おっちゃ
んは、どれも釜の仲間らしく
思われる。大事な示掃がなされ
ていふ。乞ふ、必讀!

どなたか近くにいらつしゃった
方で彼の代弁をしてくださる方
はいらつしゃらなかつたのでし
ようか。その寒々とした視線が
飛び交う場面が想像されます。
そして私は彼にたずねまし
た。「なんでそのおっちゃん屋
まっからお酒飲んでたんやろ」
「なんでそのおっちゃんあなた
にそう言つたんやろ」「なんで
おっちゃん他の人ではなくあな
たを選んだんやろ?」
彼は氣付いていたので。抗
議のことはおっちゃん個人に
むけても何の解決にもならない
ことを。失業という形で社会に
いじめられているおっちゃんは
働きの場のないやるせなさをお酒
でまぎらわし、自分よりの表面的
に強いと思われる(精神的には
ずつと強い)彼をつきとばし、
腹いせをするしかなかつたのか
もしれません。ある意味ではお
っちゃん自身自身をつきとば
し、自分自身をのしつたので
はないかと思えてなりません。
大阪市 柳原 亮子
(シアルワーカー 29歳)

いなかっただけのものが手帳をドンドンつくり始めただけの話で、人口そのものはそんなに増えていないというかもいれない。しかし、実際はどうか。世の中不況業種が増え、倒産・首切りが頻発している。会社の倒産・合理化で職を失なった人が、釜へどんどん職を求めてやって来ているのではないだろうか。

もしかそうだとすれば、これからまだまだ釜の労働者人口が増え続けることが予想されることになる。労働者人口が増えるのに従って仕事量も増えてくれればいいが、そうならなければ、今以上にアスレがきつくなる。仕事のうばい合いになり、ハジキ出される仲間も、今以上に多くなる。

手帳番号の伸びの身を正確に知ることは、今後の釜ヶ崎を考えるうえでかかすことができないことだと思つ。

以上のよりなことから、アンケート調査を始めたわけだが、なんせ越冬闘争期間中のことで、毎日二く三人が調査する

という小規模なやり方しかできず、アブしをもらいにきている仲間(今回の対象者は六万台以後の仲間とこぼつた)は多かったのだが、結局、一三七人の仲間の話しか聞けただけだった。(二六名は六万台より前の番号だった)多少不十分な点もあるが、増加の中身をおしはかるには充分だと思つ。

今後、夜間学校ではアンケート結果について、皆で考えてみたいと思つている。まだ十分に整理されていないが、一回目は年令と釜に来てからの年数について報告する。

①まだ取安に確めていないので正確ではないが六万台の手帳発行は八四年で七万台は八六年に入つてからのことだと思つ。(今七万五千台の人が有資格となつてアブレをもらい始めている)

②七台については、釜に来て五年未満の人は四七名(アンケート七万台中七八、三%)で、以前から釜に居て新しく手帳をつくつた人は三割にたつしなると

いうことになる。釜に来てまだ二年たたない仲間が二六名(四三、三%)もいることは注目する。(約四千人強が新規増加)

③六万台については、二二名(四四%)が新しく釜に来た仲間、二八名(二二%)が以前から釜で働いてきたと思われ、(三三%)も約四千人強が新規増加)

※7万台の手帳を持つ仲間の年令と釜に来てからの年数

	0	1	2	3	4~5	6~10	11~15	16~	N.A.	計	
20才台	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
30才台	4	2	-	1	3	1	-	-	-	11	
40才台	5	3	2	3	3	1	-	3	-	20	
50才台	5	2	2	3	2	1	2	2	-	19	
60才台	1	2	1	-	1	-	1	2	-	8	
	16	10	5	7	9	3	3	7	0	60	
	38% (63.3%)				22% (36.6%)						

アンケートの
手帳番号のハラス
をアブレした
補正が必要だと
すいば、数は
もう少し
小さくなる
かも
知れ
ない!

八十年代に入つて、
労働者人口が
増えている。

※6万台の手帳を持つ仲間の年令と釜に来てからの年数

	0	1	2	3	4~5	6~10	11~15	16~	N.A.	計	
20才台	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	
30才台	1	1	1	1	6	3	2	1	-	16	
40才台	-	1	1	2	2	3	2	-	1	11	
50才台	-	-	2	3	1	4	2	2	-	15	
60才台	-	2	2	-	-	2	-	-	-	6	
	1	5	7	6	9	12	6	3	1	50	
	19名 (38%)				22% (44%)						
	28% (56%)				31% (62%)						
					22% (44%)						

釜に
来て
まだ
二年
たた
ない
仲
間
が
二
六
名
(
四
三
、
三
%
)
も
い
る
こ
と
は
注
目
に
値
す
る
。